

報道機関各位

令和5年10月19日

北九州市デジタル市役所推進室

**職員一人ひとりがイノベーター DXで実現する未来の働き方****～作業時間10万時間削減に向けて、市政変革を加速！～**

現在、一部の部署に導入しているローコードツール（下記※参照）について、令和5年11月1日から、北九州市の全職員（約8,000人）が使えるように拡大し、全庁的な活用を開始します。

全庁的な業務改善や情報共有を推進することで、令和7年度末までに**作業時間10万時間削減**に向けて、市政変革を加速させます。DXによって捻出した職員のリソースは、相談や支援、市民に直接接する業務などに振り向け、更なる**市民サービスの向上**につなげていきます。

記

**1 これまでの成果**

- ▽令和3年10月、ローコードツール試行導入
- ▽現在、職員約900人が利用し、**173システム**を開発・稼働中
- ▽令和4年度に削減できた職員の作業時間：**約3.6万時間**
- ▽導入1年半で節減できたと試算されるシステム費用：**約22億円相当**
- ▽保健所の新型コロナ陽性者管理をはじめ多くの業務でDXを実現（別紙）

**2 今後の取組**

全国最大規模

- ▽11月1日から**全職員（約8,000人）**で活用
- ▽業務に活用できるシステム開発の拡大
- ▽職員への教育・研修の充実、活用事例の共有・普及
- ▽令和7年度末までの目標
  - ・年間削減作業時間：**10万時間**（令和7年度）
  - ・節減可能と試算されるシステム費用：**100億円相当**（累計額）

※プログラミング等の専門知識がなくても、簡単に業務システムを開発できるツール連携協定を締結しているサイボウズ社のkintoneを活用

**【問い合わせ先】**

デジタル市役所推進室

TEL 093-582-3007 担当課長：須山 担当係長：高塚

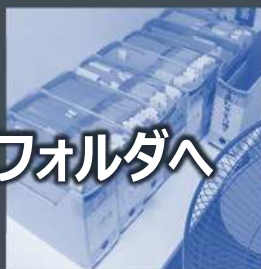
# kintoneを活用したDXの事例

## 保健所における新型コロナウイルス陽性者の発生届処理等

導入前

陽性者の調査内容等を

手書きし、個別フォルダへ



どこ?!



非効率で多くの応援職員が必要

導入後

陽性者の調査内容等を

システムで一元管理



職員がローコードツールでシステム構築



業務量が削減、応援職員が最小限に

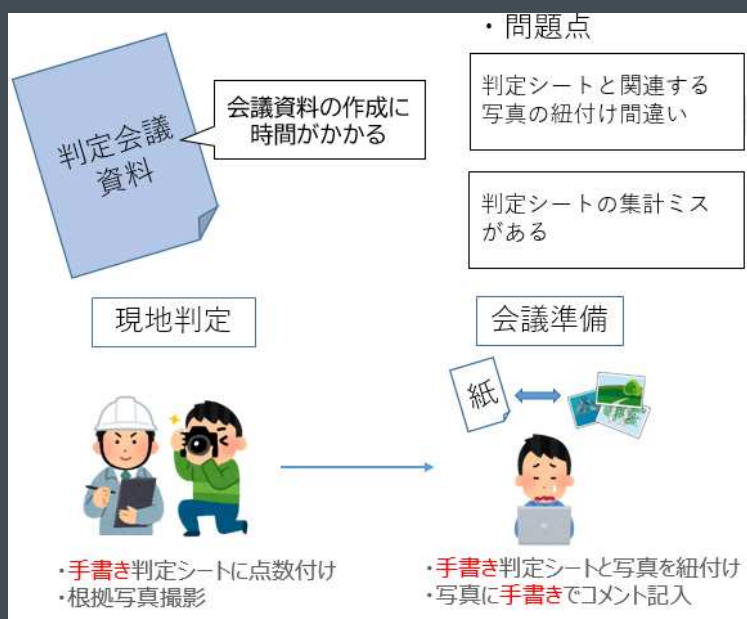
応援職員を85名削減（約100名→約15名）

フォルダ・用紙・印刷代を約1,000万円削減

# kintoneを活用したDXの事例

## 老朽空き家等除却補助現地判定

### 導入前



### 導入後

The screenshot shows the kintone application interface for '空き家所在地' (Vacant House Location). It displays fields for '行政区' (Municipality) and '町名' (Town Name), with '小倉北区' and '下町津二丁目' entered. There are also fields for '外区符号' (Outer Area Code) and '住居番号' (Residence Number). A '判定結果' (Judgment Result) section shows '危険度' (Danger Level) as 75, '不良度' (Defect Level) as 110, and '補助率' (Subsidy Rate) as '特別' (Special). A callout box 'モバイル端末から直接写真・判定項目を登録' (Directly register photos and judgment items from mobile terminal) points to the interface. Another callout box '現地判定項目の点数自動計算' (Automatic calculation of scores for on-site judgment items) points to a section with a radio button for '②外壁等が脱落、飛散等する恐れがあるか否か' (Whether there is a risk of falling or scattering of exterior walls, etc.). A third callout box '直接写真へコメント等記入' (Directly enter comments, etc. on photos) points to a photo of a building with a red circle around a window. A final callout box '会議資料としてそのまま活用' (Use as meeting materials as is) points to the photo. The interface also shows a '判定の方向' (Direction of Judgment) section with radio buttons for '既) 下地の露出しているもの' (Already) and '未) 新しく下地の露出しているもの、または穴を空けているもの' (Not yet).

システム内製により、年間作業時間を157時間削減

# kintoneを活用したDXの事例

## 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業

### 導入前

市民が「確認書」に必要な項目を記入して郵送



記載内容を確認し、不備があれば再度、「確認書」を市民に郵送、返信依頼

開封や読取に膨大な人員と時間が必要  
再送手続きが発生・紙の保管場所も必要

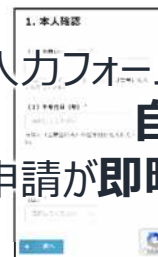
### 導入後

市民がスマートフォンなどからオンライン申請

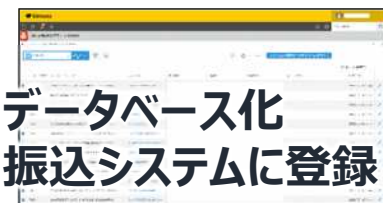


入力フォーム上で

自動チェック、不備ない申請のみ受付  
申請が即時反映され、CSVが自動生成



不備のない申請のみを自動でデータベース化  
CSVで出力し、RPAが自動で振込システムに登録



2か月で1.2万件の電子申請／1,069時間の業務量削減